

平成28年度水道事業決算 持続的・安定的な健全経営で 安全・安心な水をお届けします

経営課 ☎(63)7118

2億4033万円の純利益

9月市議会定例会で、平成28年度水道事業の決算が認定されました。平成28年度は、総収益17億744万円に対して、総費用14億6711万円で、差し引き2億4033万円が純利益になりました。この利益は、今後の水道施設の整備や借入金金の返済に充てます。

下水道使用料が4月1日から改定 下水道事業の 適切な運営のために

経営課 ☎(88)9158

本市の下水道使用料は、早期接続・普及促進を図るため、供用開始以降、消費税相当額の改定のみで、変更していませんでした。現在の使用料収入は、人口減少や節水機器の普及などの影響で伸び悩んでいます。事務の効率化や、地方債をより低い金利のものに借り換えなどに取り組んできましたが、下水道事業全ての運営費を使用料でまかなえず、不足分を市税などで補

●使用料単価比較表 2か月分(税込)

区分	汚水量	改定後	現行
基本使用料	20m ³ まで	3,067円20銭	2,592円
超過使用料 (1m ³ 当たり)	21m ³ ~40m ³	159円84銭	135円
	41m ³ ~60m ³	167円40銭	140円40銭
	61m ³ ~100m ³	174円96銭	145円80銭
	101m ³ ~200m ³	183円60銭	151円20銭
	201m ³ 以上	192円24銭	156円60銭

計算例(2か月の汚水量が37m³のとき)

区分	計算式	使用料
基本使用料(20m ³)		3,067円20銭
超過使用量(17m ³)	17m ³ ×159円84銭	2,717円28銭
合計		5,784円(1円未満切り捨て)

水道事業は複式簿記で 財務管理しています

●表1 損益計算書

収益の部		費用の部	
営業収益	15億 327万円	営業費用	13億6,071万円
給水収益	14億5,527万円	営業外費用	1億 640万円
受託工事収益	1,078万円		
その他営業収益	3,722万円	費用合計	14億6,711万円
営業外収益	2億 417万円	純利益	2億4,033万円
合計	17億 744万円	合計	17億 744万円

●表2 貸借対照表

資産の部		負債の部	
固定資産	165億1,435万円	固定負債	56億5,193万円
有形固定資産	165億 603万円	流動負債	12億9,311万円
無形固定資産	832万円	繰延収益	30億4,305万円
流動資産	26億4,675万円	負債合計	99億8,809万円
現金預金	17億 89万円	資本の部	
未収金	9億2,564万円	資本金	83億2,976万円
貯蔵品	2,013万円	剰余金	8億4,325万円
前払費用	9万円	資本剰余金	7,990万円
		利益剰余金	7億6,335万円
		資本合計	91億7,301万円
資産合計	191億6,110万円	負債・資本合計	191億6,110万円

●表3 企業債残高の推移

年度	金額
平成24	52億3,880万円
平成25	50億 272万円
平成26	49億7,381万円
平成27	51億2,974万円
平成28	54億4,802万円

企業債 浄水場の建設や配水管の布設など、水道施設整備のための長期借入金。平成28年度は、6億3730万円を新たに借り入れました。年度末の企業債残高は、54億4802万円です(表3)。

●平成29年度上半期の予算執行状況

市民満足度の 更なる向上を 目指して

企画財政課 ☎(88)9121

健全な財政を堅持します

9月30日現在での一般会計予算の執行状況は、予算額460億5519万円に対し、収入済み額が178億1169万円、収入率38.7%、支出済み額が136億8800万円、支出率29.7%となっています。各特別会計の執行状況は、左の表のとおりです。限りある財源を効果的・効率的に活用し、これからも健全財政の堅持に努め、スピード感のある行政経営で市民満足度の向上に努めていきます。

●予算執行状況 (9月30日現在)

会計区分	予算額	収入済み額		収入率	
		収入済み額	支出率	収入率	支出率
一般会計	460億5,519万円	178億1,169万円	38.7%	136億8,800万円	29.7%
須賀川駅前土地区画整理事業	1,475万円	0円	0.0%	381万円	25.8%
山寺土地区画整理事業	1億5,341万円	0円	0.0%	147万円	1.0%
市営墓地事業	4,892万円	1,629万円	33.3%	2,278万円	46.6%
下水道事業	24億2,047万円	2億1,585万円	8.9%	7億5,018万円	31.0%
農業集落排水事業	9億4,970万円	6,992万円	7.4%	3億6,695万円	38.6%
特定地域戸別合併処理浄化槽整備事業	660万円	203万円	30.8%	215万円	32.6%
特別会計	665万円	499万円	75.1%	252万円	37.8%
中宿財産区	665万円	659万円	194.6%	83万円	24.4%
小塩江財産区	339万円	979万円	48.5%	633万円	31.4%
西袋財産区	2,016万円	578万円	102.6%	9万円	1.5%
長沼財産区	563万円	37億8,172万円	40.1%	41億1,507万円	43.6%
国民健康保険	94億4,247万円	30億5,972万円	49.1%	25億7,399万円	41.3%
介護保険	62億3,567万円	1億9,533万円	28.9%	2億 322万円	30.1%
後期高齢者医療	6億7,519万円	31万円	0.4%	2,553万円	29.2%
勢至堂簡易水道事業	8,744万円				

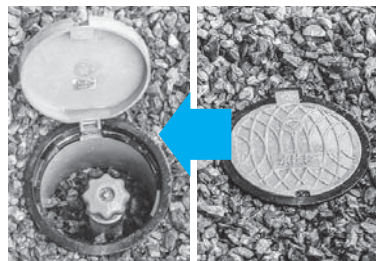
※金額には、前年度からの繰り越しなどを含みます。

水道管の 冬支度は 万全ですか



水道管の凍結を防ぐ方法

▼立ち上がり管が露出している箇所には保温カバーや古毛布などを巻き、ビニールなどでカバーをしましょう。
▼冷え込むときや長期間不在になるときは、水抜栓(不凍栓)を操作して水道管の中の水を抜いておきましょう。
▼水道管に凍結防止用の電熱線が巻いてあるときは、コンセントが差し込んであることを確認しましょう。
水道管が凍結したら 凍結した箇所はタオルなどを掛け、その上からぬるま湯をゆっくり掛けます。熱湯を掛けたり直火を当てたりすると、器具や水道管を破損するおそれがあります。
水道管が破裂したら 水抜栓(不凍栓)を閉めて漏水を止め、破裂箇所を布やテープを巻くなどの応急処置をし、すぐに「市指定給水装置工事業者」に修理を依頼してください。業者が分からないときは、水道お客さまセンター ☎(72)8168 にお問い合わせてください。
水道施設課 ☎(63)7131



不凍栓があるときは、蓋を開けて操作してください